

研究課題名	ヒト副腎組織におけるアルドステロン・コルチゾル産生異常の病態解明と診断法
研究責任者名	広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 講師 沖 健司
研究期間	2021年7月6日(倫理委員会承認後)～ 2024年3月31日
対象者	2006年9月6日～本院内分泌・糖尿病内科を受診した副腎腫瘍患者さん。
意義・目的	<p>副腎は腎臓の隣にある臓器で、アルドステロンとコルチゾルという2種類のステロイドホルモンを産生し、それぞれ生命維持に重要な役割を果たしています。ヒトの病気の中には、これらのホルモンが過剰に分泌したり不足したりする病気がありますが、こうした病気の診断や原因の解明には、副腎の組織の中でどのようにこれらのホルモンが作られているかを調べる必要があります。しかしながら、現在これらのホルモンがどの細胞で作られているのかを顕微鏡で観察して実際に調べる方法はありません。</p> <p>今回の研究は、アルドステロンとコルチゾルが副腎のどの細胞で作られているのかを、顕微鏡で見ることが出来るようにするために行います。また、異常なアルドステロン産生部位に関しては、後天性の遺伝性が無い遺伝子の異常(体細胞変異といいます)も調べます。この研究は、アルドステロンとコルチゾルの産生異常が起こす病気の診断や原因解明にとっても役に立つようになると考えています。</p>
方法	<p>副腎または腎の腫瘍を治療する手術の際に摘除された副腎および腎臓組織のうち、病理診断で不要になった部分の一部を使用します。必要に応じて、検査のために採取した血液や尿のうち、余ったものを使用したり、E 疫 M-634「副腎腫瘍症例における表現型や内分泌検査との関連についての研究」において研究用に血液の保管に同意いただいた方の血液(10ml 程度)を使用することがあります。組織は顕微鏡で見ることが出来るように薄くスライスされ薄いガラスの板(スライドガラスといいます)に貼り付けられます。アルドステロンまたはコルチゾールを副腎で作る酵素に結合する「抗体」を使用して、副腎のアルドステロンを作る細胞がどの細胞なのかを特定するところに</p>

研究代表機関 慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室 大家基嗣

共同研究機関

埼玉医大国際医療センター泌尿器腫瘍科	西本紘嗣郎
埼玉医大国際医療センター病理診断科	安田政実
横浜労災病院	西川哲男
京都医療センター	成瀬光栄
東京医科歯科大学大学院	吉本貴宣
金沢大学内科	武田仁勇
関西医科大学	松田公志
順天堂大学内科	内田豊義
東京理科大学	東達也
大阪大学工学研究科	新聞秀一
Leiden 大学 (オランダ)	Hans Morreau
公立昭和病院代謝内科	高橋克敏
山崎医科大学精神科 代謝・内分泌内科学教室	白根 隆

埼玉医科大学中央研究施設	水野洋介
東京大学大学院	鈴木穰
埼玉医科大学医学部微生物学	堀内大
東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科	森本聡
University of Michigan	Hammer, Gary
筑波大学臨床検査医学/スポーツ医学研究室	竹越一博
九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学 (第三内科)	小川佳宏
埼玉医科大学 医学部ゲノム応用医学 システム医学グループ	堀江公仁子
京都大学医学部医学研究科腫瘍生物学講座	小川誠司

試料・情報の管理責任者

慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室 大家基嗣

個人情報保護について

1. 各施設各社各機関に依りて使用されるフニノドガニフ

ずることはありません。

〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 講師 沖 健司

TEL 082-257-5196

研究機関：広島大学